

第5章 学生の受け入れ

(1) 現状の説明

点検評価項目①：学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。

【評価の視点】

- 1：学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針の適切な設定及び公表
- 2：下記内容を踏まえた学生の受け入れ方針の設定
 - ・入学前の学習歴・知識水準・能力等の求める学生像
 - ・入学希望者に求める水準等の判定方法

1)ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえるとともに、学力の3要素※を念頭に置き、学風、目指している人材養成、求める学生像を示した大学全体の学生の受け入れ方針(以下、アドミッション・ポリシー)を以下の通り定め、ホームページに公表している。

※学力の3要素：①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

《アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)》

順天堂大学は、1838年、学祖佐藤泰然が江戸薬研堀に開設した西洋医学塾に端を発し、今に繋がる日本最古の医育機関です。学是「仁」(人在りて我在り、他を思いやり、慈しむ心、これ即ち「仁」と理念「不断前進」(現状に満足せず、常に高い目標を目指して努力し続ける姿勢)に則り、「出身校、国籍、性による差別無く優秀な人材を求め、活躍の機会を与える」という学風(三無主義)を掲げ、自己研鑽・競争原理及び相互信頼のもとに高い倫理観に基づく教育、研究、臨床を実践しています。

本学は、医学、スポーツ健康科学、看護学及び国際教養学の理論と実際を教授・研究することにより、国際的な広い視野を持ち、高度の専門知識とスキルを基盤に科学及び技術の水準を高め文化の進展に寄与し、地域社会や国際社会の発展と人類福祉の向上に貢献できる人材の養成を目指しています。

学士課程では、上記のような人材養成目的を実現するため、次のような意欲と資質を有した学生を国内外より求めています。そのために多様な入試制度を用意しています。

1. 本学の学是「仁」及び理念「不断前進」を理解し、自らの持つ感性と倫理観を絶えず磨いていく意欲の高い者
2. 自ら主体的に学び、自ら積極的に取組み、解決の道を切り拓くことにより人間的成長を強く志向する熱意がある者
3. 専門知識を高め、論理的思考力と確かな技能を身につけるための基盤として、高等学校等までにおける教育課程で修得した基礎的な学力を有している者
4. ボランティア活動、課外活動などこれまでの特徴的な活動を通じて思いやり、奉仕の心、協調性を有している者
5. 幅広い人間性と柔軟性を備え、外国語を含むコミュニケーション能力を身に付けていく強い意志と意欲をもつ者

大学院では、次のような意欲と資質を有した学生を国内外より求めています。そのために、各研究科各課程において求める学生像に基づき、多様な背景を持つ志願者に対応する入試制度を用意しています。研究計画を含む出願書類の内容、学力試験、面接試験などによって、入学段階で備えているべき資質や能力、専門性を評価します。

1. 本学の学是「仁」及び理念「不断前進」を理解し、自らの持つ感性と倫理観を絶えず磨いていく意欲の高い者
2. 研究者として、自ら課題を設定し、独創的な学術研究に意欲的に取組み、学術の進展に貢献しようとする志のある者
3. 高度の専門性を発揮する職業人として、社会の発展に貢献しようとする志のある者
4. 学問に対する知的好奇心、専攻分野の基盤となる知識・技能、柔軟な思考力とを兼ね備え、新たなことに挑戦しようとする強い目的意識を持っている者

第5章 学生の受け入れ

2) 各学部・研究科においては、大学全体のアドミッション・ポリシーとの整合をはかるとともに、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、それぞれアドミッション・ポリシーを定め、ホームページや学生募集要項に掲載している。アドミッション・ポリシーでは、各カリキュラムを通して、本学の卒業生、修了生となり得る意欲、資質を有する学生を入学者として得るため、求める学生像、入学に際し求められる学力の水準、入学者選抜などの方針を明確にしている。また、各学部の学生募集に関するミッションを、ホームページ、学生募集要項、パンフレットに明示し、教育に対する学生・教職員それぞれの立場の責任と認識をまとめている。

(大総務 2-1 法人ホームページ 「各種方針」)

(大総務 1-2 順天堂大学総合パンフレット)

点検評価項目②：学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。

【評価の視点】

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1：学生の受け入れ方針に基づく学生募集方法及び入学者選抜制度の適切な設定 2：入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制の適切な整備 3：公正な入学者選抜の実施 4：入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜の実施
・障がいのある学生の受け入れ |
|---|

1) 本学では、アドミッション・ポリシー、入学者選抜基本方針に基づき、各学部・研究科において学生募集及び入学者選抜を行っている。入学者については、学部・研究科ごとに入試に関する委員会（入試委員会、合格者選考会議等）にて適切かつ公正な選考に努め、教授会・研究科委員会の審議を経て学長が許可・決定している。

(大医 5-1 2019(平成 31)年度 医学部学生募集要項)

(大ス 5-1 2019(平成 31)年度 スポーツ健康科学部学生募集要項)

(大医看 5-1 2019(平成 31)年度 医療看護学部学生募集要項)

(大保看 5-1 2019(平成 31)年度 保健看護学部学生募集要項)

(大国教 5-1 2019(平成 31)年度 国際教養学部学生募集要項)

(大院医 5-1 2019(平成 31)年度 大学院医学研究科医科学専攻(修士課程)学生募集要項)

(大院医 5-2 2019(平成 31)年度 大学院医学研究科医学専攻(博士課程)学生募集要項)

(大院ス 5-1 2019(平成 31)年度 大学院スポーツ健康科学研究科学生募集要項)

(大院看 5-1 2019(平成 31)年度 大学院医療看護学研究科学生募集要項)

2) 文部科学省による医学部入学試験に関する書面・訪問調査（2018(平成 30)年 8～9 月）が行われ、一部の入試方式において、合否判定基準に男女による取り扱いの差異及び浪人年数による取り扱いの差異が設けられていたことについて指摘を受けた。その後、医学部入学試験に関する事実調査等を目的として第三者委員会を 2018(平成 30)年 10 月に設置し、同年 12 月に第三者委員会の緊急第一次報告書を受領した。その報告書を受けて、2019(平成 31)年度以降の入学試験では、不利益な取り扱いと評価された合否判定基準を廃止するとともに、「大学入学者選抜実施要項(文部科学省)」及び「大学医学部入学試験制度に関する規範(全

第5章 学生の受け入れ

国医学部長病院長会議)」に則り、適切かつ公正な入学試験を実施した。

- 3) 学生募集の方策として、ホームページや各種広報媒体に記事を掲載するだけでなく、高校や予備校等が主催する進学説明会への参加やオープンキャンパスを年に複数回実施するなどの取り組みを行っている。
- 4) 各学部では多様な学生を受け入れるため、その特性に応じた入学試験を実施している。例えば、医学部では、一般入学試験、センター・一般独自併用入学試験、センター利用入学試験の他に、地域枠選抜入学試験、国際バカロレア入学試験 (AO 入試)、帰国生入学試験、外国人入学試験を実施している。また、医学部、医療看護学部及び保健看護学部ではすべての入試方式で面接試験を課しており、学力試験だけでは測ることのできない意欲・資質・能力をアドミッション・ポリシーに基づき評価している。面接時には、各自の特徴を示すもの (TOEFL, IELTS, TOEIC, 英検, 漢検, 各種段位, 免許書, 表彰状などの証明書, 記念品, 広報紙等) があれば、それらを持参させ、説明を求めている。
- 5) 大学院医学研究科では、一般入試 (外国人入試を含む)、社会人入試及び外国在住外国人入試の3種類実施している。外国在住外国人入試は、受験のためだけに来日することなく書類選考による特別入学試験制度である。
- 6) 大学院スポーツ健康科学研究科博士前期課程では、AO 選抜、一般選抜を実施しており、入学願書、課題小論文 (本学大学院で研究したいこと) 等の所定の出願書類及び面接試験を総合して評価している。出願区分は、「一般」の他、「社会人」「トップアスリート (スポーツ)」「外国人 (留学生)」を設け、多様な背景を持つ者を受け入れている。博士後期課程では、入学願書、研究計画書 (修士論文の概要、本学大学院での研究内容や目的・方法、これまでの研究業績等を詳細に記載したもの) 等の所定の出願書類及び筆答試験 (英語)、面接試験を総合して評価している。博士前期課程、博士後期課程ともに、出願までに希望指導教員と複数回の面談を行い、希望指導教員が出願を了承していることを必須としている。
- 7) 大学院医療看護学研究科では、博士前期課程は、専門科目及び英語 (一般) 又は小論文 (社会人) 並びに面接を実施している。専門科目は、研究指導可能な専門領域の中から、自らが進学を希望する科目とそれ以外の科目の2科目を選択して受験することとしている。博士後期課程は、筆記試験 (英語) と口述試験を実施している。
- 8) 身体の障害・疾病等により受験及び修学、学生生活に特別な配慮を必要とする場合は、出願前に相談を受け付けている。

点検評価項目③：適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき、適正に管理しているか。

【評価の視点】

1：入学定員及び収容定員の適切な設定と在籍学生数の管理

< 学士課程 >

- ・ 入学定員に対する入学者数比率
- ・ 収容定員に対する在籍学生数比率
- ・ 収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応

< 修士・博士課程 >

- ・ 収容定員に対する在籍学生数比率

第5章 学生の受け入れ

- 1) 設定している入学定員を遵守すべく、正確な定着予測に努めており、全学的に適正な管理が出来ている。2018（平成30）年度における入学定員に対する入学者数比率（5年間平均）及び収容定員に対する在籍学生数比率は下記のとおりである。

	入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)	収容定員に対する在籍学生数比率
学士課程	1.01	1.00
修士課程	1.12	1.36
博士課程	1.15	1.26

（大学基礎データ 表2、表3）

- 2) 学士課程では、卒業延期者・留年者数が少なく、2018（平成30）年度では、修業年限卒業率は全体で95.1%となっており、ほとんどの学生が修業年限で卒業をしている。

2016(平成28)年度			2017(平成29)年度			2018(平成30)年度		
入学者数	修業年限 卒業生数	修業年限 卒業率	入学者数	修業年限 卒業生数	修業年限 卒業率	入学者数	修業年限 卒業生数	修業年限 卒業率
781	764	97.8	777	745	95.8	910	865	95.1

点検評価項目④：学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

【評価の視点】

- 1：適切な根拠（資料、情報）に基づく点検・評価
 2：点検・評価結果に基づく改善・向上

- 1) 学生の受け入れの適切性について、各学部では教授会や入試に関する委員会、各研究科では研究科委員会にて定期的に点検・評価を行っており、その結果は各学部・研究科の自己点検・評価報告書にまとめている。全学的観点からは、自己点検・評価報告書の内容について、自己点検・評価運営委員会及び大学協議会において検証を行い、必要な改善を行うこととしている。

- 2) 毎年、大学運営連絡協議会において、入試結果報告及び今後の入試戦略について、各学部からの報告に基づき検証を行っている。学生募集や入試方式等における改善・工夫についても情報を共有し、その有効性・適切性も含めて検証が行われ、次年度の学生募集や入試方式等を検討する際の材料となっている。

（大総務5-1 大学運営連絡協議会議案シート(平成30年4月11日)）

- 3) 各学部では、アドミッション・ポリシーに基づき、入試に関する委員会にて募集方式・募集人員、試験科目・配点、実施方法等について点検・評価をしている。検証された内容は、教授会において各学部長より報告を行い、改善・向上に向けて取り組んでいる。

（大医5-2 医学部入試委員会議事録(平成30年4月)）

（大ス5-2 スポーツ健康科学部入試委員会議事録(平成30年5月)）

（大医看5-2 医療看護学部入試委員会議事録(平成30年10月)）

（大保看5-2 保健看護学部入試委員会議事録(平成30年5月)）

（大保看5-3 保健看護学部入試委員会議事録(平成30年7月)）

（大科教5-2 国際教養学部入試委員会議事録(平成30年4月)）

- 4) 各研究科では、アドミッション・ポリシーに基づき、入試に関する委員会及び大学院研究科

第5章 学生の受け入れ

委員会にて募集方式・募集人員、募集時期、配点・科目等について点検・評価を行い、その結果を基に改善・向上に向けて取り組んでいる。

(大院医5-3 大学院医学研究科委員会議事録(平成30年6月))

(大院ス5-2 大学院スポーツ健康科学研究科入試委員会議事次第(平成30年5月))

(大院看5-2 大学院医療看護学研究科委員会議事録(平成30年4月))

- 5)国際化に向けた入試制度改革として、医学部が先行してTOEFL・IELTS・国際バカロレア等の外部英語資格・検定試験結果を活用した入試方式を導入してきたが、他学部でもその特色にあわせて外部英語資格・検定試験結果を活用する試験方式の導入が進められている。

(2) 長所・特色

- 1)各学部・研究科においてアドミッション・ポリシーを学生募集要項やホームページに明示し、多彩な方式で入学試験を行っているが、本学の特徴は、多くの入試方式において面接試験を課していることである。志望理由と学修意欲等を聞き、本学へ入学する目的意識を確認している。退学者が少ないことから、選考方法が適切に運用されていると言える。更なる発展方策として、アドミッション・ポリシーに基づいた入試広報の充実に努め、学力だけでなく人物・意欲・資質等を見極める選抜を行っている。

学部計

(単位：人、%)

年度	在籍学生数	退学者数	退学率
2016(平成28)年度	3,618	19	0.5
2017(平成29)年度	3,819	19	0.5
2018(平成30)年度	4,041	20	0.5

修士課程、博士前期課程計

(単位：人、%)

年度	在籍学生数	退学者数	退学率
2016(平成28)年度	209	2	1.0
2017(平成29)年度	219	6	2.7
2018(平成30)年度	236	6	2.5

博士課程、博士後期課程計

(単位：人、%)

年度	在籍学生数	退学者数	退学率
2016(平成28)年度	587	10	1.7
2017(平成29)年度	615	14	2.3
2018(平成30)年度	674	9	1.3

- 2)本学が求める意欲と資質を有した学生を選抜できるように、大学入試センター試験を利用した選抜方式、TOEFL・IELTS・国際バカロレア等の外部英語資格・検定試験結果を活用した入試方式、地方受験制度を導入するなど、受験方式の多様化を図っている。更なる発展方策として、アドミッション・ポリシーに則して、先進的な入試方式を取り入れ、入試制度改革を継続し、本学の求める学生像に合致した学生を確保していく。

第5章 学生の受け入れ

(3) 問題点

1) 文部科学省による医学部入学試験に関する書面・訪問調査（2018(平成30)年8～9月）が行われ、一部の入試方式において、合否判定基準に男女による取り扱いの差異及び浪人年数による取り扱いの差異が設けられていたことについて指摘を受けた。

これらの指摘に対し、医学部においては、適切かつ公正に入学者選抜が行われていることを確認するため、副医学部長を委員長とする入試検討委員会を設け、「大学入学者選抜実施要項（文部科学省）」及び「大学医学部入学試験制度に関する規範（全国医学部長病院長会議）」に則って、選抜方法・選考プロセスの公正性・妥当性を検証するように改善を図った。関連して、他学部・研究科においても、適切かつ公正な入学者選抜が行われているか、点検・評価する必要がある。各学部・研究科の自己点検・評価をもとに、全学的観点から、自己点検・評価運営委員会及び大学協議会において検証を行い、必要な改善を行うようにしたい。将来的には、大学全体として内部質保証に責任を負う「内部質保証推進組織」を整備し、自己点検・評価運営委員会で確認した各部署の自己点検・評価の結果及び改善状況を客観的に評価・検証し、各部署におけるPDCAサイクルの機能向上を支援するようにしたい。

2) 入学者選抜の適切性・公正性の確保が求められていることから、学部入学者の選抜に関し、全学的な観点から、入試に関する規程を制定し、各学部入試に関する事項についても規程に整理することが必要である。

今後、各学部からの意見を反映し、大学協議会での協議を経て、それぞれ規程を制定し、規程に基づいた入学者選抜を実施するようにしたい。

(4) 全体まとめ

アドミッション・ポリシーは大学のホームページにて明示し、積極的な広報活動を展開している。学部においては、オープンキャンパスや進学説明会にて教育内容、キャンパスライフ等の説明を行い、個別相談にも応じている。大学院研究科においては、希望する研究指導教員との研究内容の確認を行うなど、入学後のミスマッチが起きないように取り組んでいる。

文部科学省による医学部入学試験に関する書面・訪問調査（2018(平成30)年8～9月）が行われ、一部の入試方式において、合否判定基準に性別及び浪人年数による取り扱いの差異が設けられていたことについて指摘を受けたが、医学部では、2019(平成31)年度以降の入学試験について、選抜方法・選考プロセスの公正性・妥当性を検証するように改善を図っている。学生募集及び入学者選抜の適切性の点検・評価については、各学部では教授会や入試に関する委員会、各研究科では研究科委員会にて定期的に点検・評価を行っており、その結果は各学部・研究科の自己点検・評価報告書にまとめている。全学的観点からは、自己点検・評価運営委員会及び大学協議会において検証を行い、必要な改善を行うようにしている。将来的には、大学全体として内部質保証に責任を負う「内部質保証推進組織」を整備し、同組織のもとで質保証に取り組みたい。

第5章 学生の受け入れ

(5) 根拠資料

資料No.	各部署の資料整理No.	資料名称
1	大総務2-1	法人ホームページ 「各種方針」 https://www.juntendo.ac.jp/corp/about/policy.html
2	大総務1-2	順天堂大学総合パンフレット
3	大医5-1	2019(平成31)年度 医学部学生募集要項
4	大ス5-1	2019(平成31)年度 スポーツ健康科学部学生募集要項
5	大医看5-1	2019(平成31)年度 医療看護学部学生募集要項
6	大保看5-1	2019(平成31)年度 保健看護学部学生募集要項
7	大国教5-1	2019(平成31)年度 国際教養学部学生募集要項
8	大院医5-1	2019(平成31)年度 大学院医学研究科医科学専攻(修士課程)学生募集要項
9	大院医5-2	2019(平成31)年度 大学院医学研究科医学専攻(博士課程)学生募集要項
10	大院ス5-1	2019(平成31)年度 大学院スポーツ健康科学研究科学生募集要項
11	大院看5-1	2019(平成31)年度 大学院医療看護学研究科学生募集要項
12	大総務5-1	大学運営連絡協議会議案シート(平成30年4月11日)
13	大医5-2	医学部入試委員会議事録(平成30年4月)
14	大ス5-2	スポーツ健康科学部入試委員会議事録(平成30年5月)
15	大医看5-2	医療看護学部入試委員会議事録(平成30年10月)
16	大保看5-2	保健看護学部入試委員会議事録(平成30年5月)
17	大保看5-3	保健看護学部入試委員会議事録(平成30年7月)
18	大国教5-2	国際教養学部入試委員会議事録(平成30年4月)
19	大院医5-3	大学院医学研究科委員会議事録(平成30年6月)
20	大院ス5-2	大学院スポーツ健康科学研究科入試委員会議事次第(平成30年5月)
21	大院看5-2	大学院医療看護学研究科委員会議事録(平成30年4月)